

VI 広報活動

1 情報誌「赤谷の森だより」の発行

赤谷プロジェクトの取組み等を普及するため、「赤谷の森だより」を年3回、今年度は第17号から第19号まで発行しました。平成22年度からより親しみやすくわかりやすい紙面となるよう、全面リニューアルを行ったことから地域の方々より好評を頂くようになりました。各号の内容としては以下のとおりです。

発行部数は1回あたり12,000部で、みなかみ町の全戸へ1部ずつ配布するとともに、図書館等の公共機関にも配置しています。



平成23年度「赤谷の森だより」主な掲載内容

	タイトル	執筆者（敬称略）
第17号 (5月)	赤谷の森でわかったこと 新たな森づくり、スタート 「赤谷の森管理経営計画」の策定	関東森林管理局計画課
	赤谷プロジェクトに望むこと	清水英毅 「森林塾青水」塾長
第18号 (9月)	赤谷の森でわかったこと 人工林を自然に戻してみようという試み	塚田夢人 (東京農工大学森林生態学研究室OB)
	赤谷プロジェクトに望むこと	施井真希子 (みなかみ町観光協会)
第19号 (1月)	赤谷の森でわかったこと 姉妹プロジェクト 「綾の照葉樹林プロジェクト」について	土屋俊幸（自然環境モニタリング会議委員 東京農工大学）
	赤谷プロジェクトに望むこと	岸良昌 (みなかみ町町長)

2 ホームページによる広報活動

赤谷センターでは、赤谷プロジェクトの活動の一環として、ホームページを運用し、イベント情報や「赤谷の森だより」を掲載するなど情報発信に努めています。

平成22年12月から立ち上げた、「赤い谷のブログ～プロジェクトの現場より～」は平成23年度は約70回更新し、赤谷の森で起こった様々なことを写真を中心にお届けしました。(<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/akaya/photosouko.html>)

また、平成23年7月からセンター職員が撮影した写真を活用した「赤谷の森野生生物カード」の作成を始め、併せてホームページに掲載しました。(http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/akaya_fc/akaya-card/akaya-card-A.html)

環境教育や視察時に配布を行っており、好評をうけて現在40種類まで完成しています。



3 関東森林管理局広報誌「関東の森林から」への寄稿

赤谷センターでは、関東森林管理局の広報誌である「関東の森林から」へ赤谷プロジェクトに関する情報を寄稿し、より多くの方に関心をもって頂けるように心がけています。

平成23年度は「赤谷プロジェクトの軌跡」と銘打ち連載形式で全4回、プロジェクトの発足からこれまでの取組等について、以下の内容で掲載しました。

	発行月	内容
85号	4月	第一回（プロジェクトの発足）
88号	7月	第二回（プロジェクトの仕組み）
91号	10月	第三回（主な取組）
94号	1月	第四回（赤谷の森管理経営計画策定）



5 マスメディアの活用

掲載された主な新聞記事は下表のとおり。

年月日	新聞社	タイトル
23. 4. 5	上毛新聞	赤谷プロジェクト考えよう（前橋で公開講座）
23. 4. 14	〃	森林保全活動参加を（赤谷プロジェクト解説）
23. 5. 30	〃	生物の多様性学ぶ（放送大学国有林で授業）
23. 10. 4	〃	ガイドと共に 赤谷の森散策
24. 2. 25	〃	赤谷の森自然散策 動物の足跡を観察
24. 2. 26	〃	「赤谷プロジェクト」登場 群馬大